

療育研修会

北海道地方 本部

◆テーマ 筋ジストロフィー患者の移動支援について 講師 竹田 保

北海道において冬の積雪期間を抜きに移動支援を考えることは無理である。社会は

ノンステップバスや地下鉄の駅にエレベーターが付いたりしているが、冬は家から

車いすが雪で動かずに出ることさえできない。以前北海道内における移送サービス、

介護タクシー等の移動支援事業所の有無を調査したことがあるが、残念ながら道内

30市町村は事業所が存在しないことがわかった。ハード面が整備されることは好ましいが

そこに行く手段の確保をどのように行っていくのかを同時に考えていかなければ

ならない。

◆テーマ 筋ジストロフィー患者の移動実技 講師 川口 雅紀

患者には車いすを使用している人、歩行している人等、症状や型によってそれぞれで

ある。歩行している人でも微妙なバランスを取りながら歩いているため車に乗る時の

座席に腰を落とす時は膝が落ちるように座るためゆっくり座るように腕を抱える必要

がある。

本人の意向に沿い身体に出来るだけ負担のかからない介助を行うことが必要である。

療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 15

テーマ ◆筋ジストロフィー患者の
移動支援

◆筋ジストロフィー患者の
移動実技介助

講師 社会福祉
主事 竹田 保

訪問介護員 川口 雅紀

実施場所 新川記念館

研修会状況写真



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

福祉サービスが充実し、高齢者や障がい者は自由に外出できる環境が整っているように

思っていたが、まだまだ不十分であった。ハード面の整備に行政は目を向けているよう

であるが、ソフト面の整備も進めていく必要があることを知ることができた。

療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 15

テーマ ◆筋ジストロフィー患者の
移動支援

◆筋ジストロフィー患者の
移動実技介助

講師 社会福祉
主事 竹田 保

訪問介護員 川口 雅紀

実施場所 新川記念館

研修会状況写真



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

車いすの介助はいつもヘルパーで行っていたが、筋ジス患者の介助方法として下り坂
で肩を押しえたり、後ろ向きで下るときには首が倒れないように注意して介助を行うこ
とを知った。何気ない介助でも病気や障がいによって異なることを改めて知ることがで
きた。